

オーディオ機器専用 シリーズ電源ユニット

adt-audio の提供するミキシング コンソールやオーディオ モジュール専用として開発された電源ユニットは、多岐にわたるプロオーディオ用機器に最適な仕様のユニットをラインナップしております。

特徴

- トロイダルトランス搭載のアナログオーディオ機器向けのシリーズ電源（ドロップパー電源）ユニット
- 計 5 系統の DC 電圧を供給可能。オーディオ± (5V ~ 30V 対応) 電源だけではなく +48V ファンタム電圧、制御電圧 (5V ~ 30V 設定可能)
- 回路数や容量など、ニーズに合わせ特注生産が可能 (1 ユニットから特注にて受注可)
- 変換ケーブルを製作し、あらゆるメーカーのモジュール、ケースやコンソールに供給し、動作可能 (改造等は応相談)
- 電源ユニット内蔵の機器にも改造等にて対応可能 (応相談)

アナログ機器の電源には電源もアナログ電源（シリーズ電源）が有効です。音質も安定し、各モジュール本来の性能を発揮できます。持ち運び（可搬性）より音質重視の現場に威力を発揮します。あらゆる環境下で安定した電源を供給できます。

実績

NEVE 1073 (Vintage module) オーディオ +24V/Phantom +48V

Merging Technology Hapi (Small Format Networked Audio Interface) DC14V 入力端子

ヘッドホンアップや汎用の AC アダプター駆動のオーディオ機器 (5V ~ 30V 駆動) に柔軟に対応可能

外観

IN1 W 219 x H 110 x D 300 mm / 9.2Kg / 5A



ToolPwr-M+ W 120 x H 88 x D275 mm / 3.2Kg / 1.5A



汎用 AC アダプター（スイッチング電源）との違い

スイッチング電源は、交流電源を一旦直流に変換してから高速でオンオフして高い周波数に変換し、トランスで適当な電圧に変換して直流電圧を作り出します。

50Hz や 60Hz の低い商用電源周波数を数十 kHz や数百 kHz の高周波に変換するためトランスも小型化され、ノイズ吸収用の電解コンデンサーの容量も小さい容量で済み、電源の小型化と低価格化が可能となります。

ただし、高速に DC をスイッチングするときにどうしても高い周波数のノイズを発生させてしまいます。

もちろん最新の機器はスイッチングノイズを低減させる数々の技術が採用されてはいますが、完全に抑えきれていないのも事実です。

一方、シリーズ電源（ドロップパー電源）はトランスで電圧変換し、トランジスターやレギュレーター IC で内部抵抗値を変化させ電圧を低下（ドロップ）させ所要の電圧を得ています。

50Hz や 60Hz の低い商用周波数を電圧変換するため大型のトランスが必要で、抵抗成分に電流が流れるため発熱が発生し、効率もスイッチング方式より低くなります。

シリーズ電源ユニットは DC 電源を高速でスイッチングしないため、高周波ノイズを発生させる可能性がありません。

